

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	1. 地域の皆様の協力を得ながら、その人らしい日常生活が送れるよう支援します 2. ご利用者様の思いを大切に安心して暮らせるよう支援します 3. 社会福祉法人として、「慈善・教育・博愛」の精神を忘れず、地域へ貢献できるよう努めます を基本理念としている	○ 基本理念を変更したばかりのため、ご家族様や地域の皆様へ理解を得たり、浸透するように努めていきたい
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	今回、新に職員で基本理念を見直し検討、作り上げた。この理念に基づきながら実践していくよう取り組んでいる	○ 新たな理念に基づきながら、日々ご利用者がその人らしく安心して地域で暮らせるよう、ミーティングやケースカンファレンスで話し合っている
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	今回の基本理念の変更にあたっては運営推進会議開催時に案に時点で検討していただき理解を得た。また、グループホームフロアーに掲げたり、家族会開催時に説明をし、理解して頂いたり、浸透できるよう働きかけていきたい	○ 今後も運営推進会議や家族会などで、基本理念に触れ地域や家族の皆様へ浸透するよう努力する
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の方への挨拶や入居者の友人の訪問や地域のボランティアの方の来苑などあり、隣近所の方とのつながりがある	○ 今後も色々な面で協力して頂く事が多いため、つながりを大事にしていきたい
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会へ加入、地域のお花見や祭りなどに参加、また、老人福祉会館でのふれあい喫茶などへの参加や毎年納涼祭をグループホームが企画し地域の方に参加して頂くなど、交流している	○ 継続していきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員 の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮 らしに役立つことがないか話し合い、取り 組んでいる	学生の福祉体験などの受け入れの協力や地域の方 の直接介護相談などの訪問があれば、地域の資源 の説明や在介への紹介など行ったり、地域の方の 認知症高齢者の問題などあれば情報提供や見守り などの協力を行っている		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び 外部評価を実施する意義を理解し、評価を 活かして具体的な改善に取り組んでいる	自分たちが当たりまえのようにしている業務を見 直し話し合える機会と理解している 外部評価の 結果は来訪された家族も見ることができ 受け た評価は受け止めて改善策を話し合っている	○	ハード面については対応困難であるが、利用者の 対応については、指摘されたところは職員で具体 案を検討し早急に改善を図るよう努めている
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこの意見をサー ビス向上に活かしている	2～3ヶ月に1回開催し、行事報告や運営に関す ることなどの意見交換を行い、職員間でも話し合っ たりしてサービスの中に取り入れている	○	地域の方への理解を深めて頂くための大事な場 であると思うため、今後も運営推進会議を上手に利 用していきたい
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	運営会議に包括支援センターの方に参加して頂 き、グループホームのサービス状況や問題点など を伝えたりし相談や報告を行っている、		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成 年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々 の必要性を関係者と話し合い、必要な人 にはそれらを活用できるよう支援している	利用者の判断能力により、必要時は金銭管理を 行っていたり安心サポートの利用や成年後見人 制度の利用など対応を検討している		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	職員の言動や行動に暴言や暴力がないか、職員間 で注意しながら防止に努めている	○	ケアの上で、言葉かけや対応について、虐待や権 利侵害を行っていないかなど注意しながら、今後 も意識を継続していく為に、ミーティングなど での話し合いや研修への参加をしていきたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時・解約時は十分説明を行い不安のないように可能な限り説明を行っている 特に解約時は、不安感が高まる為退居後もできる限りかわりを持ち不安のないように配慮している	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情窓口の設置や、1ヶ月に1回常会を開き利用者様の意見や思いを発言できる機会を設けている 日常生活の中で訴えに傾聴し改善に努めている	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月1回ご利用者の報告や行事・金銭出納（毎月分）を書類で郵送し報告、又家族面会時には近況の報告、必要時はTELにて報告など行っている	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置や市町村窓口の説明、面会時など声をかけ話しやすいように配慮したり、家族会（年1回）で意見を出していただいたりしている また、出された意見は、ミーティングで報告や内容によっては検討し、家族へ結果報告など行っている	○ 家族よりの苦情や不安などについては、運営推進会議などで検討しサービスに反映していきたい
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングや会議の中での職員の意見を聞きながら対応し、反映している	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の要望に沿うよう、いろいろな企画をし、それに合わせた対応ができるよう職員を配置し、勤務の調整を行っている	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員が良い人間関係の中で落ち着いて仕事ができるよう、不満などは解決したり、解決はできないが十分説明し納得して頂く等の努力している。職員の退職などがあった場合は、利用者へ退職されたことを伝え、退職者の写真を剥がす また、退職後も来訪して下さる職員もあり、その際は利用者も懐かしそうに話がはずむこともある	○	辞めた職員でも来訪され利用者と話をするなどふれあうと利用者様が喜ばれたりするので、いつでも訪問していただけるような雰囲気努める
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設外研修においては経験年数などで研修内容を見ながら交替で職員が参加できるよう配慮している 研修報告書を記入し職員が閲覧できるようにしている 日常業務の中では、わからないことや対応や方法について現場で説明しながら指導している		
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会・市老連への参加と、今年度より、大阪市グループホームネットワーク・西成区グループホーム連絡会へ参加し勉強会や見学会などに参加し交流を深めている	○	今年度より西成区グループホーム連絡会ができ参加させて頂いている 継続的に参加することや積極的な意見交換を行いサービスの向上に努める
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員に何でも話をしてもらえぬ雰囲気作りをしている また、個人の趣味などへの活動参加は、ストレス解消になるため休みの調整を行っている		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員は、日勤であればリーダー業務であったり、各居室担当・各行事・各係りの担当となり責任を持って仕事をしている また、会議については全員から意見を聞くことや、研修などへ参加をして頂いている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居相談時になるべく本人の希望などをできるだけきいたり、質問に分かりやすく答えたりするようにしている。また、見学できるようにであれば見学して頂き、現状を見ながら本人の言葉や表情を確認し受け止めるように努力している		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	電話での入居相談時は、家族の質問などについて応えるようにしており、なるべく見学を進めている。見学されることで安心したり、具体的な質問になったりするので、家族の不安や求めていることなどの情報の提供や対応なども説明しやすい十分な時間を取り相談して頂けるよう努力をしている		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	現在の状況を確認し、必要としているサービスの情報の提供など社会資源を家族にアドバイスしている		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	前もっての見学をして頂き雰囲気を確認して頂いたり、本人や家族より情報を収集しサービス提供へつなげていきたい	○	利用者が利用開始前より職員が訪問する機会を増やしたり、何度か訪問して頂いてなじんでいただくことの可能な方に対しては取組んでいきたい
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者のとくいとすることの取り組みをおこなってもらい、お互いに感謝していただくことや、職員が利用者より生活の知恵などを教え頂いたり場面作りを大切にしている	○	利用者のできることをして頂くことの継続

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	日常の様子などを面会時や便りで報告し、利用者の思いや状態を理解して頂きながら、ともに考えていただいたり、行事などに参加を呼びかけるなど働きかけている		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族へ本人の状況報告を随時行いながら、相談やお手伝いして頂けることは協力して頂いたり、家族面会の頻度が減らないように、利用料金の支払は現金にして頂いたり、行事などの参加の呼びかけなど行っている		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の友人・知人も利用者に会いに立ち寄られたり、散歩中に顔なじみの方に会われお話されるなど、職員はその時の場を大事にし継続支援ができるよう配慮している		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	生活の中でその人にあった役割を持つことでお互いの気持ちを持って頂けるよう配慮している トラブルがあった場合は職員が間に入り話をよく聞いて関係が修復できるように努めている		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所された利用者や家族についても、必要な方については関わりを断ち切らず、家族と連絡のやり取りや相談などに対応している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	今までの暮らし方を把握した上で、日々の関わりの中から表情や会話の中より思いを受け止めたりしている。また、家族より情報を得たり、家族と共に話し合ったりしている	○	本人の思いを大切に暮らしていけるよう取り組んでいきたい
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の面接時や入所後に本人や家族より生活歴を聞いている また、馴染みの暮らしができるよう今まで使っていた物などを持ち込んで頂くようにしている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	申し送りや、支援経過記録・その日の出来事ノート・連絡帳などより、各利用者の把握に努めている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族の要望の確認や日々の関わりの中から見えてくる課題などの職員の意見を検討しながら介護計画を作成している		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しはもちろん、利用者の状態の変化に伴い問題がある場合については、本人や家族への説明や要望の確認 ケースカンファレンスを開催し話し合い、介護計画を変更している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	各利用者の日々の様子は支援経過記録に記載 特別な出来事などや気づきがあった場合は支援経過記録はもちろんのこと職員が目を通しやすいように出来事ノートに記入するなどし情報を共有、実践や介護計画に活かしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制を活かし、主治医の往診、体調不良時の連絡や指示確認も直ぐに可能な状況である。また、居宅療養管理指導を受け薬剤師による薬の管理をして頂いている		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	各クラブ活動などは地域のボランティアの方の協力を得ながら行っている 年2回の消防訓練は消防署の協力を得ながら行っている	○	地域資源の把握に努め、参加や協力依頼などおこなっていききたい
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ほとんど行っていない		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	金銭管理の困難な方の、あんしんサポートの利用をおこなっている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	他事業所への移動前より、利用者の心身の状況や家族関係についてケア関係者へ十分説明し、利用者を十分理解した上で受け入れて頂けるよう努めている		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員が利用者に言葉かけや対応に気をつけながらプライドや誇りを傷つけないよう注意している また、記録物などのプライバシーなどの情報については鍵のかかるところに保管している	○	個人情報に関わる取り扱いについては十分対応に配慮しながら個人情報保護の徹底をしていく
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	できる限り利用者の希望などが聞けるよう言葉の表現方法を変えたり、ストレートに聞くのではなく別のことより話しかけるなど 本人の納得した内容になるよう支援している また、職員が内容を共有できるように本人の思いや希望をその日の出来事ノートに記入し情報を共有、実現に向けて対応できるように努めている		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の生活スケジュールはある程度決まっているが無理強いせず本人のペースで生活して頂いている		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ボランティアの方が来苑され理美容を行って頂いているが、毛染めや馴染みの美容院を希望される方については希望されるところを利用して頂いている 化粧などについては、希望される方についても自由であり日常されない方については行事などの際に化粧をして頂くなどしている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在はお金の所持を希望される方はいないが、お金を持たないと不安な方については相談の上、自己管理して頂き、買い物などに行った際に付き添った職員が確認を行うなど工夫していた		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	季節を肌で感じてもらい心身の活性に繋がるよう日常的に散歩・買い物などに出かけている		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	利用者の希望を聞きながらの外出行事（苑外レク・外食・観劇など）など行っている また喫茶店に行ったり、外出を拒否される方については家族などの協力により外出をして頂くなどの対応をしている		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	以前は手紙の交換なども行っていたが、現在は手紙が届いても返事を書いて頂こうと勧めても書かなくなってしまっている		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族や馴染みの方の訪問についてはいつでも気軽に訪問して頂いている 来援時はゆっくりできるよう、場の提供であったり言葉賭けをするよう対応している		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	契約書の中にも身体拘束については原則行わないことを記入しており、身体拘束を行わないケアに取り組んでいる		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間は防犯上鍵をかけ戸締りをしている 日中については、鍵をかけないことは原則と理解しているが、職員が状況にあわせて安全第一を考えて施錠する場合がある しかし、帰宅願望など強いときなどや徘徊などで外に出ようとした際は、職員が付き添い外に出て利用者の思いを組みながら帰苑して頂いている		
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	特に居室などでのいる場合などは、その時の状況で職員の入室を不快に思われる場合もあるため、様子を伺いながらや声かけや表情を確認しながら入室させて頂いたりしている 夜間に関しても、ドアに鍵を掛けられる方についてはトイレ覚醒などの間隔が長いときは鍵を開錠させて頂き確認させて頂いている 利用者が目を覚ましてしまったりしたときなどは上手に声掛けし不安や不快に思われないよう上手に対応している		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	消毒薬など危険物に関しては倉庫に管理し、利用者に触れないように対応、また夜間は包丁などは詰所で管理している		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人ひとりの状態を把握し職員が共有、ヒヤリハットなどがあった場合など記録に残し、ミーティングやカンファレンスで報告や対応策を検討するなどし確認しあっている	○	事故予防のために、利用者への気づき・気配りを増やし、情報や対応の共有の強化を図る
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	訓練までは行えてないが、連絡網や緊急時のマニュアルを作成している	○	機会があれば応急処置などの講習への参加
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルの作成、消防訓練の実施 自治会にお願いしたり運営推進会議で協力を得る タバコなどを嗜好している方に対しては喫煙中は職員が見守ったり、タバコやライターは利用者の同意のもと職員が管理させて頂いている 防災頭巾を作成し各利用者の部屋に設置した	○	定期的な避難訓練の実施の継続

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	○	<p>利用者の状態により水分量の把握が必要な方についてはチェック表の記入など今後もおこなっていく</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	職員の出勤時はうがい手洗いの励行、外出後食前のうがいや手洗い、家族・来客・ボランティアの方の来苑時はうがい手洗いの徹底、毎日手すりやドアノブの消毒など行い感染防止に努めている また、インフルエンザやノロウイルスなどの流行時期は家族様にも文書で呼びかけたり、インフルエンザについては利用者・職員が予防接種を実施している	○	実施の継続
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具の衛生管理（十分な洗浄・感想など）布巾や台拭きなどは定期的に消毒を行っている 食材についても新鮮で安全な物を購入し、冷所保存や賞味期限の確認を行いながら使用している	○	実施の継続
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関廻りには草花を植え、来苑時にくつろいで頂けるよう玄関に椅子を置いたり、花をいけて和んで頂けるよう工夫し、安心して出入りしやすいようにしている		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が落ち着くよう季節の花などを飾ったり、フロア飾りに配慮している また、天窓の日差しがまぶしくないようスタレを使用し対応 食事の準備の音やご飯の炊ける臭い、心地良い音楽を流すなど工夫している	○	季節が感じられる暖かさのある生活観のある空間作りを継続して考えていきたい
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用部分では、食堂・リビング・玄関ソファーなど本人の好きな居たい場所でくつろがれている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	利用者が好きなもの・馴染みのものや大切に しているものを使用して頂き、本人が安心 して居心地よく暮らせるよう		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大 きな差がないよう配慮し、利用者の状 況に応じてこまめに行っている	換気については朝の起床時・掃除時や空 気のおどみがあるときなどに行っており、 なるべくこまめに行うよう注意している 温度調整については、外気温と5℃以上 差がないよう配慮し、利用者の声も聞 きながら温度調整している		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活 かして、安全かつできるだけ自立した生 活が送れるように工夫している	できる限りの安全な環境への配慮をして いる		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混 乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるよ うに工夫している	混乱や失敗を防ぐために、きめ細かい 声掛けや誘導、介助を行ったり、場 所を示す案内表示などを使用し工夫 している		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が 楽しんだり、活動できるように活かし ている	建物周囲は狭いが、花壇や庭があり、 草花や野菜を植え、夏には毎日水や りなど行いながら植物の成長の観 察や収穫を楽しみながら活動して いる また、夕涼みなどしている		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ハード面で十分でない分利用者の思いを汲み取ることに努力し、家事作業に取り組んで頂いたり、園芸の好きな方、生け花の好きな方には季節の花や野菜を育て切花を生けていただいたり野菜を収穫し食卓に乗せたりして楽しんでいる 利用者一人ひとりの思いを大切に、その人らしく生活できるように支援している